

第 33 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 2 月 22 日（月）午後 5 時 00 分から午後 5 時 15 分
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、舟本副知事、危機管理監、知事室長、職員長、総務部副部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部長兼企画理事、京都府議会事務局次長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 府内の新規感染者数は、1 月 17 日の 154 人をピークに、昨日 9 人と急速に減少してまいりました。
- ・ 本日は、今後の対応を協議いただくため、開催いたしました。
- ・ 知事に会議の進行をお願いいたします。

【知 事】

- ・ 1 月 14 日の緊急事態措置実施から 40 日間、この間、不要不急の外出の自粛、飲食店等の営業時間短縮等、多大な御負担をおかけしていますが、皆様の御協力により、感染は減少傾向にあります。
- ・ ただ、医療現場の状況の逼迫度の減少については、感染者数よりも緩やかなものになっています。
- ・ 引き続き、現場では医療従事者の皆様に御負担をかけており、改めて、感謝を申し上げたいと思います。
- ・ 新規感染者数の 1 週間の移動平均は昨日時点で 15 人以下となっています。本日は、速報値で、新規感染者数は 7 名です。2 月 6 日以降は、我々が独自で設定しています、次のステージへの移行を検討する目安は下回っています。
- ・ 本日の本部会議では、こうした感染状況等も踏まえ、今後の対応について議論したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。まずは、感染状況について健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 続きまして、こうした状況を踏まえた今後の対応等について、危機管理監から、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料2に基づき報告

【知 事】

- ・ここまでの報告について、松井議長から御助言をよろしくお願ひしたいと思ひます。

【専門家会議議長】

- ・感染者数は減少しており、これはひとえに府民の皆様の御尽力のおかげでありまして、御協力に深く感謝を申し上げる次第です。
- ・病床の逼迫状況も少々改善され、緊急事態宣言から次のステージに移行してもよい状況であると判断しています。
- ・ただし、感染者数が減ったといっても、感染のリスクが無くなったということではありません。感染の再拡大、いわゆるリバウンドを招かないために継続して感染防御の取組が必要です。
- ・人と話をする時にはマスクを着用してください。必要に応じて手の消毒をお願いいたします。ウイルスは主に口から体に侵入をしてくるということを忘れないでください。大人数での会食は感染リスクが高いです。社会活動の再開に向けて、うつらない、うつさない行動を今一度確認していただくようお願いしたいと思ひます。
- ・同時に感染の再拡大も想定しなければいけません。医療体制の再構築を計画的に進めていく必要があると考えております。よろしくお願いいたします。

【知 事】

- ・まさに、松井議長の御指摘のとおりです。
- ・新規感染者数の減少に比べて、当然ながら病床使用率の改善傾向はより緩やかだということと、引き続きコロナウイルスが存在しているということをお前提に、再拡大を警戒するとともに、次に備えた医療提供体制の再構築についても、十分に今後の対応をしていかないといけないと思ひています。
- ・続きまして、京都市の三科危機管理監からも御意見を願ひします。

【京都市危機管理監】

- ・事務局案については、賛同させていただくという立場です。
- ・飲食店の時短につきましては、事業者の皆様、そして市民の皆様の実践により、取組効果が生まれてきたと認識しています。
- ・今後、段階的かつスムーズに次のステージに移っていくことが大変重要です。今後とも京都府市の連携をしっかりと取り組んでもらいたいと思ひています。また、3府県知事協議もされるということですので、そのあたりの意見交換をいただければと思ひております。

【知 事】

- ・飲食店は非常に御協力をいただいておりますし、特に京都市は現場の見回り等も含めて、大変な中でも対応いただいております。それについても、改めて感謝をしたいと思います。
- ・これは国の対処方針とも関連しますが、段階的な移行ということを常に言われておりますので、これにつきましては、今後どういう形で、それを継続するなりしていくかについては、引き続き検討いたしますので、京都市とも十分連携して、検討していきたいと思っております。
- ・他に御意見、御発言等あればよろしくお願いします。
- ・無ければ、事務局案により、国に対し、緊急事態から次のステージへの移行について求めていると思っております。
- ・兵庫県が、本日先行して本部会議を開催し、大阪府が先週、ほぼ同様な形での本部会議での結論が出ていますので、またこれは詳しくみますが、明日の午後1時から、3府県の知事の会議、そしてそれが整えば、2時から、西村大臣と意見交換するという形で予定しております。よろしくお願いします。
- ・続きまして、健康福祉部長から、ワクチン接種等今後の医療検査体制の強化について御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料2に基づき報告

【知 事】

- ・特にワクチンについては、まさにスタートラインに立ったばかりということで課題が山積をしております。一つ一つ、丁寧に解決していくという姿勢で、是非とも臨んでいただきたいと思います。
- ・他に各部局から報告があれば。
- ・それでは、本日の会議の総括を申し上げたいと思います。
- ・府民の皆様、事業者の皆様、そして医療関係者の皆様の御協力により、新規感染者数についても減少、医療提供体制についても徐々に逼迫は改善されています。先ほどの決定事項を踏まえ、大阪府、兵庫県とも連携して国へのお話をしていきたいと思います。
- ・今日は、関係部局に対し、3点についてお願いしたいと思います。
 - ・①緊急事態措置から次の事態に移行しても、引き続き感染の再拡大防止は非常に重要なものでして、その場合の措置については、引き続き検討を進めて、次回の本部会議において決定すること。
 - ・②高齢者施設のPCR検査について、集中実施をし、重症化リスクの高い高齢者の感染防止を徹底していくこと。
 - ・③ワクチン接種については、先週、関係団体と協定を結びました。この協定によって、協力・連携していく基盤はできたと思っておりますが、これはあくまでスタートですので、医療機関、市町村、多くの関係者の方がいますので、連携して、接種が円滑になるべく進むよう、全力で取り組んでいただきたい。

- ・引き続きの御理解・御協力をお願いいたします。

【危機管理監】

- ・関係部局においては、ただいまの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いしたいと思います。
- ・本日は御多忙の中、松井議長様、また三科危機管理監には御出席を賜りましてありがとうございます。
- ・以上をもちまして、本日の対策本部会議を終了させていただきます。